



令和8年9月28日(月)発行



「自分たちの学校を、自分たちの手で」

生徒会部

「宝島(=たくさんの宝が眠っている島を探しに行くように、自分たちも様々なものを見つけに行こう!)」というスローガンを掲げてスタートした今年の学校祭活動は、学校祭を目前に控え、いよいよ最後の仕上げの段階に入っています。

さて、学校行事の中では「文化的行事」に位置づけられている学校祭ですが、学習指導要領には、そのねらいについて「平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること」とあり、それを基に本校では次の3つを学校祭のねらいとしています。

- ①一人ひとりが活動をやり遂げる成就感を味わい、互いの活動を評価し認め合う中で、学校全体・学級の連帯感を高める。
- ②計画立案とそれを実行する具体的方法・組織活用の工夫などを学ばせ、責任感と行動力を育む。
- ③文化的な表現活動に対する考え方や感性を養い、発表を鑑賞し楽しむ心や表現力、創造力を育む。

また本校の生徒会活動では、生徒自身が学校生活をよりよいものにするために考え、話し合い、決定し、実行することを大切にしています。学校祭の準備においても、「どんな学校祭にしたいか」「みんなが楽しめるものにするにはどうしたらよいか」を考え、仲間と意見を交わしながら活動を進めています。もちろん、活動の中では意見がぶつかったり、計画どおりに進まなかったりすることもあります。思うように協力してもらえず悩むこともあるでしょう。しかし、そうした経験も生徒会活動における大切な学びです。自分の考えを伝えるだけでなく、相手の意見に耳を傾け、互いに折り合いをつけながらよりよい方法を見つけていく。その過程で、責任感や協調性、リーダーシップ、そして「自分たちの力で学校を動かす」という自治の意識が育ってきます。

学校祭は、生徒たちにとっては日頃の学習や活動の成果を発表する場であるとともに、「自分たちの学校を、自分たちの手でつくる」ことを実感できる大切な機会となります。学校祭の活動を通して、生徒たちが悩み、考え、試行錯誤し、仲間と協力して最後まで取り組んだ経験が、生徒たちの成長につながっていくことを心から願っています。そして、学校祭で得た経験は、学校祭が終わったら終わりではありません。そこで培った「自分たちで考え、行動する力」は、今後の生徒会活動や日々の学校生活へとつながっていきます。生徒たちが互いを認め、支え合いながら、自分たちの学校をよりよいものにしていく。そのような生徒会活動を、これからも大切にしていきたいと思えます。

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動ならびに生徒会活動を温かく見守り、支えてくださり心より感謝申し上げます。学校祭当日は、ぜひ生徒たちの苦勞と努力の跡を見ていただき、挑戦と成長を感じていただき、温かい拍手を送っていただければ幸いです。

【健全育成推進会 講演会のご案内】

11月16日(月)15時より、健全育成推進会主催の保護者向け講演会「思春期と共に生きる」を開催いたします。講師には、北海道教育大学名誉教授の 戸田 まり 先生を講師にお迎えします。講演では、思春期の子どもの体と心の変化、思春期の子をもつ親自身のライフサイクルや家庭環境の変化について、わかりやすくお話をさせていただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

参加ご希望の方は、QRコードまたは以下のURLよりお申し込みください。

<<https://forms.gle/QfPNzcb4NSQ7bbAu6>>



■第59回学校祭に向けて

9月30日に行われる学校祭に向けて、学級活動や放課後の時間を使い、装飾づくりに取り組む姿や、ステージ発表の練習に励む生徒たちの笑顔が見られます。どの学級も協力し合いながら、最終仕上げに向けて工夫を重ねています。生徒一人一人が役割を担い、準備の場面で互いに助け合う姿はとても頼もしく、教室には前向きな雰囲気が満ちており、当日の発表が今から楽しみです。

【公開内容】

- 1 学年ステージ発表 8:50～ 9:55 (1 学年保護者観覧可)
 - 2 学年ステージ発表 10:10～11:15 (2 学年保護者観覧可)
 - 3 学年ステージ発表 11:30～12:35 (3 学年保護者観覧可)
 - 太鼓部発表 13:55～14:05 (太鼓部保護者観覧可)
 - 吹奏楽部発表 14:15～14:25 (吹奏楽部保護者観覧可)
- ※学校祭当日は装飾や窓イラスト、8組作品の鑑賞時間は設けておりません。これらの作品は10/23の学校公開日にご覧いただけます。

■教育実習終了

8月から本校で教育実習を行っていた5名の実習生が3週間、4週間の期間を終え、無事に実習を終了しました。授業見学や教材研究、学級活動の補助など、日々の学校生活の中で多くの学びを積み重ねてきました。授業を担当する場面では、緊張しながらも一生懸命に取り組む姿に、子どもたちも温かく応えていました。実習生にとっては、教員としての基礎を身に付ける大切な時間となり、子どもたちにとっても新しい出会いや学びの機会となりました。実習生が本校での経験を今後の歩みに生かしてくれることを願っています。

■体力向上週間 ～栄中ギネス8の字跳び～

9月14日～16日にかけて、体力向上週間の取組として「栄中ギネス8の字跳び」を行いました。体育館では、生徒たちの元気な声が響き、仲間と息を合わせて挑戦する姿が見られました。8の字跳びは、2分間で跳んだ回数を競うもので、7人から15人でチームを構成して挑みました。

どの学年も、縄のリズムに合わせて息をそろえようとする真剣な表情と、成功した瞬間に思わず笑顔がこぼれる様子が印象的でした。

仲間と声を掛け合いながら挑戦する経験は、体力向上だけでなく、協力する楽しさや達成感を味わう貴重な機会となりました。今後も、生徒が運動に親しみ、互いを支え合う場を大切にしていきます。

【情報モラル①】 子どもが知らずに加害者に？ネットでの言葉の責任

「うちの子がネットいじめの加害者に？」—そんなことはないと思いたい。しかし、SNSやチャットアプリが日常に溶け込んだ今、子どもが軽い気持ちで書き込んだ一言が、誰かを深く傷つけてしまうことがあります。悪意がなくても、結果的に加害者になってしまうケースは少なくありません。

ネット上では顔が見えない分、言葉の重みが軽く感じられがちです。「冗談のつもりだった」「みんなが言っていたから」—そんな理由で投稿された言葉が、相手にとっては深刻な攻撃になることもあります。

特に子どもは、言葉の影響力や相手の受け取り方を十分に理解していないことが多く、無意識のうちに加害行為に加担してしまうことがあります。

保護者としてできることは、まず「ネットの言葉にも責任がある」という意識を子どもに持たせることです。画面の向こうには感情を持った人がいること、そして一度発信した言葉は簡単には消せないことを具体的な事例を交えて伝えると効果的です。

また、家庭での会話も重要です。「こんな投稿を見たけどどう思う？」「もしも友達が傷ついていたらどうする？」といった問いかけを通じて子ども自身が考える力を育てましょう。禁止や監視だけではなく、対話を通じて価値観を共有することが、予防につながります。

ネットは便利で楽しい場所ですが同時に「言葉の責任」が問われる場でもあります。子どもが知らずに誰かを傷つけないよう、保護者としてできることはたくさんあります。

まずは今日、子どもと「ネットでの言葉」について話してみませんか。

■■ 10月の主な行事予定 ■■

10月 1日(木)	開校記念日	19日(月)	全校協議会(前期最終)
2日(金)	非行防止教室	20日(火)	札教研秋の研究集会・避難訓練②
6日(火)	3年進路写真撮影	21日(水)	5教科一斉テスト②
7日(水)	3年学力テストB	23日(金)	後期認証式【学校公開日】
8日(木)	立会演説会	26日(月)	全校協議会
13日(火)	体育大会(1年)	27日(火)	PTA中間会計監査
14日(水)	QU検査②	29日(木)	得点通知表配付
16日(金)	職員会議(完全下校)	30日(金)	1日総合・8組校外学習②